



楓の誉

R4.10.31(第7号)
文責: 瀧上 佳宏

学校のICT活用に「待った」はなし

後期の開始早々、中体連駅伝大会や合志市総合防災訓練、三年生の共通テスト等、様々な行事や活動が目白押しでした。十一月からも、学習発表会、人権教育公開授業、菊池教育事務所学校訪問、二年生の修学旅行等と、引き続き忙しい日々が続きます。生徒も教職員も、場合によっては優先順位を付け、より確かな成果を目指しつつも、無理し過ぎないように取り組んでくればと思っています。

ところで、昔々の二十三年前、私(校長)は、文部省(当時)の海外派遣事業で、アメリカ合衆国の教育事情を視察する機会をいただきました。その際、派遣団員は、個別課題を設定することになっており、私は「アメリカの情報教育(現在で言うところのICT教育)」というテーマを掲げて参加しました。

メインで訪問した都市は、メキシコと国境を接するエルパソ(テキサス州)。視察したコルドバ中学校においては、コンピュータ(以下、PC)ラボが三教室(約二〇台・一学級が二〇名以下なので、一名一台利用可能)、図書室には八台(生徒用)、他の教室にも最低一台はPCが設置されていました。また、全てのPCはLANで接続され、インターネットにアクセスできる環境でした。

三つのラボの中の二つは、リテラシー育成のために利用されていました。私の Student

Shadow Activities (個別の案内係) のアニ

ーという中二の女の子は、小二からPCを使い始めたようで、タッチタイピングもかなりの腕前でした。なお、アニーのクラスの約半数は、自宅に自分専用のPCを持ち、道具として宿題などに使っているとのことでした。

また、もう一つのラボは理科の授業で、インターネットで科学内容のプロジェクトサイトにアクセスし、生徒各自の興味・関心にしたがって、情報検索やシミュレーションをしていました(アニーは「舌」の構造を研究)。

さらに、中二の社会科では、十四世紀のヨーロッパについて、インターネットで調べた内容を5W1Hで議論しながら、協働で新聞を作成する活動をしていました。アニーのクラスは「Castle rock News」という新聞を作り上げていました。

エルパソは、世界経済の中心でも、NASAの拠点でもなく、州都ダラスから六百マイルも離れた、周囲は砂漠の辺境の街です。しかも、二十年以上も過去の話。さすがに、現在の日本の学校も、当時のアメリカは超えたかもしれません。しかし、世界の時間は止まっているわけではありません。言うまでもなく更なる進歩・進化を遂げていることでしょう。

一部の研究指定校(地域)を除き、合志楓の森中のICT活用は、「県下のトップグループを走っている」と言っても過言ではないと思います。しかし、世界基準で見れば、普通も普通。もしかしたら、やや遅れをとっているかも……。一人一台のタブレットの時代に未来社会を見据えた時、学校のICT活用に「待った」はありません。私は退職までアクセルを踏み続けますが、世の中には、ブレーキを踏みたがる人がいるのも事実です。

よじやく実現、リアル学習発表会

十一月十二日(土)に、学習発表会を実施します。昨年度は、オンライン(オンデマンド)での実施でしたが、本年度はハイブリッドで行うこととしており、保護者の皆様にはリアルに参観をいただくことが可能となります。(発表学年で入れ替わりはお願いする予定)。

ステージ部門では、総合的な学習の各学年からの発表、校内合唱コンクール、吹奏楽部演奏があります。また、展示部門では総合的な学習のまとめやポスター、もみじ学級の作品、美術作品や書写作品の展示等があります。

総合的な学習の発表については、昨年度のイメージが残っているので、ある程度想定はしつつ、期待もしているところですが、私(校長)がとても楽しみにしているのが、合唱コンクールです。それも、本番だけでなく、練習の過程で衝突や軋轢があったりするのも、「青春！」という感じがして、何か私は好きです。中学校生活の思い出の一ページを刻んでくれたらいいと思います。



本番に向けて力試し(10/27)
(1年生のプレコンクールから)

感謝 十万アクセス達成!

本校のホームページが、十月二十七日に十万アクセスに到達しました。皆様のご閲覧に心より感謝申し上げます。今後魅力あるページ作りに努めますので、よろしくお願ひします。



学校HPのQRコード